

総合型選抜入試

【プレゼンテーション型】

受験するにあたり必要な情報やアドバイスが学科ごとにまとめてあります。よく読んで、試験に備えてください。

※試験官に資料を配付する場合に準備していただく部数については、
【9/26(金)】に本学「大学公式サイト」のお知らせにて、発表します。

○[日本語日本文化学科](#)

○[国際英語学科](#)

○[総合歴史学科](#)

○[経営学科](#)

○[現代子ども教育学科](#)

○[建築デザイン学科](#)

○[情報デザイン学科](#)

○[薬学科](#)

日本語日本文化学科

○プレゼンテーションの方法

ハンドアウト（発表資料）を用いて発表してください。資料の形式は A4 用紙 1～6 枚で、手書き・印刷、カラー・白黒、縦書き・横書き、フォントの大きさ等は自由ですが、内容はすべてオリジナルなものに限ります。資料については、試験官分も含めて準備し、当日試験会場に持参してください。

○評価方法

プレゼンテーション	自らの学びや体験を体系的に把握し、言語化、表現できているかを評価します。本学科における学びについて理解しているか、意欲をもって取り組もうとしているかについて、総合的に評価します。
面接	聞き手とのやりとりのなかで、相手の質問の意図や発言の内容を理解し、的確に答えることができているかどうか、入学後の学びに対する意欲や将来の展望について明確に表現し伝達する力があるかどうかを評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

本学科は 2026 年度が第一回目の入試になります。そこで、以下では過去分の講評ではなく、入試のポイントについて述べます。

まず、プレゼンテーションでは、受験生の高校時代の活動や興味関心のある分野および話題について、必要な資料を用いて発表をしてもらいます。何をしてきたか、ということよりも、志望動機が、大学での研究および本学科の教育内容とどのように結びついているのか、自らの経験や関心事について筋道を立ててわかりやすく伝えられているか、などを重点的に評価します。資料作成や時間配分など十分な準備と課題理解の上に発表を行うことが必要になります。

次に、面接（質疑応答）では、口頭発表の内容（発表資料の構成や表現など含む）に対する試験官の質問の主旨や意図を理解し、自分のことばで適切に応答し、必要に応じてさらに具体的に説明したり、訂正や補足ができるかを評価します。

本学科では、日本語や日本文化に対する関心を軸に、異なる価値観を持つ人々と共存することをめざす人を求めています。学科の入学者受入方針を理解した意欲ある応募を期待します。

○アドミッション・ポリシーについて

日本語日本文化学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/japanese-culture/#block-3>



国際英語学科

○プレゼンテーションの方法

手書き資料、制作物または Power Point で作成したスライドを使用して発表してください。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	①これまでの学びを踏まえて、入学後何を学び、大学での学修成果を社会でどう生かすかについての見解の内容と伝達力を評価します。②本学科で学ぶのに必要な基礎力と学修意欲を備えているかを評価します。
面接	①プレゼンテーションの内容や関連事項、および②志望理由（本学科で学ぶ意義、将来像）に関して質問します。質問を通して、コミュニケーション力、入学後の学びに対する意欲、卒業後のビジョンなどについて評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

プレゼンテーション型では、スライド（パワーポイント等）または手書きの発表資料を作成し、それを用いて、10～15分程度のプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションでは、今までに学んだことや自ら関心を抱いていることと、国際英語学科での教育内容との間に関連があるかが重要です。国際英語学科では、英語力を高めることを軸としつつ、アメリカやイギリス、英語という言葉、英語教育、通訳・翻訳、エアライン、観光、ビジネスなど様々なことが学べます。これらの中に、意欲的に取り組みたいことを見つけ、大学でどのように学びたいと考えているか、語っていただきます。自分の言葉でわかりやすく話すように心がけてください。

○アドミSSION・ポリシーについて

国際英語学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミSSION・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/english/#block-3>



総合歴史学科

○プレゼンテーションの方法

事前に資料を自作したうえで、それに基づいて行ってください。制作物、手書き、Word、PowerPoint など、自作の資料の形式は問いません。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	大学入学後の学びへの展望が、本学科のアドミッション・ポリシーやカリキュラムと一致しているかを審査します。本学科で学ぶために必要な基礎的学力と意欲を有しているかを評価します。
面接	プレゼンテーションの内容とあわせて、志望理由、高校時代に学んだこと、大学で学びたいこと、卒業後のビジョンについて質問します。そこから、本学科での学びへの理解と意欲を総合的に評価にします。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

テーマを選び、深く探求し、熱意を伝えよう！

プレゼンテーション型入試は、あなたの知的好奇心を解き放ち、探求心を刺激する場です。あなたが本当に興味のあるテーマを選び、深く掘り下げ、そして熱意をもって表現してください。あなたの挑戦を心から応援しています。

プレゼンテーション型入試：あなたの熱意と独創性を解き放とう！

●テーマ選定：提示された 2 つのテーマから 1 つを選択してください。

① 高校での「総合的な探究の時間」や学校内外の諸活動から学んだことを、入学後どのように生かしていくか。

② 自身の将来に向けて大学で何を学び、身につけた力を社会でどのように生かしていきたいか。

●選択したテーマについて、文献調査やインターネット検索などを通して深く掘り下げて、10 分間のプレゼンテーションにまとめてください。図表や写真などを効果的に活用し、聴衆を惹きつけるよう工夫してください。プレゼンテーションの後、試験官からの質問に答えてください。

○アドミッション・ポリシーについて

総合歴史学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/history/#block-3>



経営学科

○プレゼンテーションの方法

事前に資料を作成し、それに基づいて発表してください。資料の形式は問いません（手書き、Word、PowerPoint など）。資料以外の制作物などの持ち込みや、自分の身体を使ったパフォーマンスも可能です。ただし、楽器等、大きな音が出るものは使用しないでください。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	これまでの学びおよび入学後の学びや取り組みについての展望が、本学科のアドミッション・ポリシーやカリキュラムに整合しているかどうかを評価します。本学科で学ぶのに必要な基礎学力と学修意欲を備えているかを評価します。
面接	面接での受け答えを通じて、本学科のアドミッション・ポリシーやカリキュラムに沿う力を有しているかを評価します。プレゼンテーションの内容に沿った課題を自ら発見し、その解決に向けて考え行動できそうかを評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

プレゼンテーション

経営学科は「経営課題や社会課題に関心を持ち、自分の理想とするキャリアを実現できる人材」を育成します。プレゼンテーションでは、現時点でのあなたの関心や意欲を、あなたの言葉で表現してください。難解な学術用語や専門知識は必要ありません。①これまでに何を学び、どのように感じ、考えたのか。②どのような自分になるために、これから何をしたいのか。それら①と②の説明のなかで「関心のある経営課題または社会課題、自分の理想とするキャリア」を取り上げてください。課題やキャリアについては具体的な情報を集め、整理して説明しましょう。

面接

あらかじめ質問を想定して回答を用意することは必要最低限の準備です。自問自答をくり返したり、誰かにプレゼンテーションを見聞きしてもらい質問を受けるなどの練習も必要です。試験当日は「予期せぬ質問」にも、その場で考えて答えてください。スマートな受け答えよりも、対話のなかで考えを深めようとする態度の有無を審査します。

○アドミッション・ポリシーについて

経営学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/business/#block-3>



現代子ども教育学科

○プレゼンテーションの方法

紙ポスターまたは PowerPoint で作成したスライドを使用して発表してください。紙ポスターは、横 88 cm×縦 160 cm の範囲に掲示できるものに限りです。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	これまでの学びや入学後の学びへの展望が、本学科のアドミッション・ポリシーやカリキュラムに整合しているかを評価します。本学科で学ぶために必要な基礎的学力および教育・保育領域への学習意欲を備えているかを評価します。
面接	プレゼンテーションに関する質疑応答を通して、本学科のアドミッション・ポリシーに沿う力を有しているかを評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって（昨年度の講評）

昨年度の入試では、受験生の多くがパワーポイントを使用していました。しかし、紙ポスターの掲示でも創意工夫をこらしたものも見られました。例えば、パワーポイントを利用したプレゼンテーションでは、文字の色分けだけでなく写真や動画を埋め込むことで高校生活での学びが可視化されていました。紙ポスターでは、折り紙などの制作物を貼り付けるなど、アナログだからこそ具体的に自分の能力をアピールできる工夫がみられました。

今年度の総合型選抜入試では、プレゼンテーションが7分、面接が5分程度となります。そのため、プレゼンテーション用のスライドを用意する場合は6枚～8枚にまとめると良いでしょう。具体的には、テーマに合わせて「あなたが高校生活で何を学び、身につけたのか」「本学科の学びとあなたの学びがどのように結びつくものなのか（結びつけていきたいか）」「どのような大学生活を望んでいくのか」「大学での学びをどのように社会で生かしていきたいか」などについて、うまく盛り込むことが高い評価につながると思います。今年度も受験生のみなさんの思いを聞けることを楽しみにしています。

○アドミッション・ポリシーについて

現代子ども教育学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/child-education/#block-3>



建築デザイン学科

○プレゼンテーションの方法

手書き資料、制作物または PowerPoint で作成したスライドを使用して発表してください。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	これまでの学びや入学後の学びへの展望が、本学科のアドミッション・ポリシーやカリキュラムに整合しているかを評価します。本学科で学ぶために必要な基礎的学力および建築領域への学習意欲を備えているかを評価します。
面接	プレゼンテーションに関することを含めて質疑応答を行い、本学科のアドミッション・ポリシーに沿う力を有しているかを評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

プレゼンテーション型では、これまでの学びや体験を建築デザイン学科でどのように活かし、何を学びたいのか、あるいは大学で得た知識やスキルを社会でどのように活用したいのかを、10 分間で発表してください。単に原稿を読み上げるのではなく、自分の考えを的確に伝えられるよう、話し方を工夫し、十分に練習を重ねましょう。また、発表の内容は分かりやすく整理し、伝わりやすい構成を心がけてください。このプレゼンテーションでは、思考力・判断力・表現力に加え、学科での学びに必要な基礎的学力や建築分野への学習意欲についても評価対象となります。

面接では、プレゼンテーションの内容を中心に、志望理由などについて質問を行います。そのやり取りを通じて、入学後の学習意欲や、本学科のアドミッション・ポリシーに適合する力を備えているかを評価します。

○アドミッション・ポリシーについて

建築デザイン学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/archi-design/#block-3>



情報デザイン学科

○プレゼンテーションの方法

事前に資料を自作したうえで、それに基づいて行ってください。手書き、Word、PowerPoint など、自作の資料の形式は問いません。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	これまでの学びおよび入学後の学びや取り組みについての展望が、本学科の教育目標とカリキュラムに整合しているかを評価します。本学科で学ぶのに必要な基礎学力と学修意欲を備えているかを評価します。
面接	プレゼンテーションに関する質疑応答を行い、情報社会の課題の理解と解決に向けて、本学科で意欲的に学修に取り組む姿勢や態度を評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

プレゼンテーションでは、内容、論理構成のわかりやすさ、表現の適切さ、意欲、資料の見やすさなどを審査します。これから学びたい、身につけたいと思っている内容と学科の特性が関連づけられており、入学以降の展望についても的確にまとめられているものを高く評価します。自分の気持ちや感想、希望を話すだけでなく、しっかりと情報を集めて整理し、内容に組み込むことも大切です。

また、発表原稿を読み上げるのではなく、聞き手の方を見ながら、自分の言葉で表現できているプレゼンテーションを高く評価します。発表に使用する資料は、十分に時間をかけて準備し、聞いている人にわかりやすく伝える練習をしておきましょう。

面接では、提出書類・プレゼンテーションの内容を中心に質問をします。受け答えの的確さ、意欲的な態度、学科の特性に対する適性度などを審査します。自分の伝えたいことを的確に言葉にできるように練習しておきましょう。

○アドミッション・ポリシーについて

情報デザイン学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/department-3policy/info-design/#block-3>



薬学科

○プレゼンテーションの方法

PowerPoint 形式または PDF 形式で保存したスライドを使用して発表してください。ポスター用紙または A4 用紙で作成した紙資料を使用して発表を行っても構いません。

※パソコン等を使ってプレゼンテーションを行う場合は、別資料「PC 等を用いたプレゼンテーションの手引き」もご確認ください。

○評価方法

プレゼンテーション	これまでの学びを踏まえて、大学で何を学ぶか、大学での学習成果を卒業後どう生かすかについての考えを評価します。
面接	プレゼンテーションの内容、本学科で学ぶのに必要な基礎知識、および志望理由に関して質問します。入学後の学びに対する意欲、基礎知識、コミュニケーション力、卒業後のビジョンなどについて総合的に評価します。

○プレゼンテーション型を受験するにあたって

プレゼンテーションでは、これまでのご自身の学びを踏まえて、大学で何を学ぶか、大学での学習成果を卒業後どう生かすかについての考えを 10 分で発表して下さい。自分自身を振り返り考察する力、将来の目標とそれを実現するために必要なことを考察する力、金城学院大学薬学部で学びたいと考える理由と熱意等を評価します。ご自身の考えを十分にアピールできるプレゼンテーションを準備して下さい。プレゼンテーションは PC とプロジェクターを使って行います。ポスター用紙または A4 用紙で作成した紙資料を使用して発表を行っても構いません。アピールポイントを踏まえたスライドを作成できるとよいでしょう。

面接

プレゼンテーションの内容、本学科で学ぶのに必要な基礎知識、および志望理由に関して質問します。入学後の学びに対する意欲、基礎知識、コミュニケーション力、卒業後のビジョンなどについて質疑応答を踏まえて総合的に評価します。

○アドミッション・ポリシーについて

薬学科が求める学生像（入学者選抜の方針）を掲載しています。

学科のアドミッション・ポリシーを踏まえた上で、試験に臨んでください。

<https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/about/information/policies/2026/departmentspolicy/pharmacy/#block-3>

